



2025年2月6日

各位

会社名 スルガ銀行株式会社
代表者名 取締役社長 加藤 広亮
(コード番号 8358 東証プライム)
問合せ先 常務執行役員
総合企画本部長 佐藤 富士夫
(TEL 03-3279-5536)

(訂正)「勘定系システムのクラウド化に伴う費用の計上及び 保有有価証券の売却等に伴う損失の計上に関するお知らせ」の一部訂正について

2025年2月6日に公表いたしました「勘定系システムのクラウド化に伴う費用の計上及び保有有価証券の売却等に伴う損失の計上に関するお知らせ」につきまして、訂正すべき個所がございましたので、下記のとおり訂正いたします。訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

【訂正箇所】

(訂正前)

2. 保有有価証券の売却等に伴う損失

当社では、最近の金融市場の動向を踏まえ、有価証券ポートフォリオの更なる品質向上を図るため、評価損を抱えるマルチアセットファンドの一部圧縮等を実施することとしました。これらの取り組みにより、2025年3月期第4四半期の有価証券関係損益において約30億円の損失計上を見込んでおります。

なお、今後の有価証券運用方針について変更はなく、より安定的な収益構造の構築を目指し、市場環境を鑑みつつ、円債を中心としたポートフォリオを漸進的に構築していく方針です。

2025年3月期 有価証券関係損益見込み(個別) 単位:百万円

	第3四半期実績	通期見込み	増減額
有価証券関係損益※	85	<u>△3,085</u>	△3,000

※国債等債券損益及び株式等損益の合計

(訂正後)

2. 保有有価証券の売却等に伴う損失

当社では、最近の金融市場の動向を踏まえ、有価証券ポートフォリオの更なる品質向上を図るため、評価損を抱えるマルチアセットファンドの一部圧縮等を実施することとしました。これらの取り組みにより、2025年3月期第4四半期の有価証券関係損益において約30億円の損失計上を見込んでおります。

なお、今後の有価証券運用方針について変更はなく、より安定的な収益構造の構築を目指し、市場環境を鑑みつつ、円債を中心としたポートフォリオを漸進的に構築していく方針です。

2025年3月期 有価証券関係損益見込み(個別) 単位:百万円

	第3四半期実績	通期見込み	増減額
有価証券関係損益※	85	<u>△2,915</u>	△3,000

※国債等債券損益及び株式等損益の合計

以上